

地域新電力会社 ふかや e パワー(株)が 地域のチカラに！

平成30年4月3日に深谷市、深谷商工会議所、ふかや市商工会、(株)埼玉りそな銀行、そして地域新電力事業に関して実績のある『みやまパワーHD(株)』との共同出資で地域新電力会社『ふかや e パワー株式会社 (通称：ふっかちゃんでんき)』を設立しました。今月の広報では、新しい公益的事業体として設立した地域新電力会社の役割と市内に与える効果についてお知らせします。

※ふかやeパワー(株)は、渋沢栄一翁が座右の銘のひとつとした『順理則裕 (理にしたがえば、すなわちゆたかなり)』という言葉を企業理念とし、人のため、社会のためになる会社を目指しています。

地域新電力会社が目指す 環境にやさしい電力

議会の承認を経て市も55% (1100万円) 出資する地域新電力会社『ふかやeパワー(株)』は、電力供給だけではなく、環境負荷の低減や地域の活性化も目指している、地域に根ざした新しい電力会社です。事業所向けにはすでに売電を始めており、公共施設・民間企業合計で125カ所に電力供給を行い、今年度は一般家庭への電力供給開始に向けて準備を進めています。

エネルギーの地産地消で 環境にやさしい『低炭素社会』

私たちの生活に欠かすことのできない『電気』。現在、国内で使用されている電気の約9割が石油や石炭といった化石燃料をもとに発電していますが、発電に伴い排出される大量の二酸化炭素は、地球温暖化の原因のひとつとなっています。

地域新電力会社では、こうした

状況に歯止めをかけ、二酸化炭素の排出を減らした低炭素社会を目指しています。そのため、ふかやeパワー(株)では、供給する電力のうち再生可能エネルギーの割合を増やす取り組みを始めています。そのひとつが、家庭用の太陽光発電の余剰分の活用です。市内でつくられた再生可能エネルギーをふかやeパワー(株)を介して市内に供給する『地産地消』の体制構築に取り組んでいきます。

間もなく期限を迎えます 『固定価格買取制度』

2009年11月に始まった家庭用の太陽光発電で作った電力の余剰分を買い取る制度は、10年の買い取り期間が今年から順次終了していきます。今後の余剰電力の活用を検討中のかたは、ぜひ『ふかやeパワー(株)』での活用も選択肢としてご検討ください。

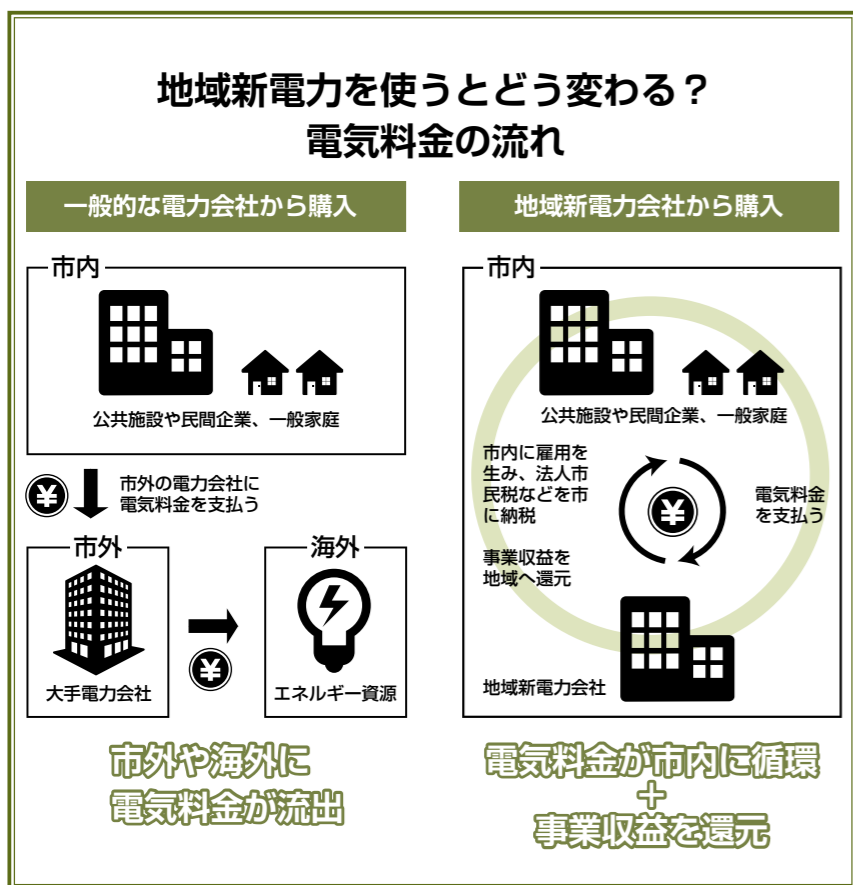


年間の電気料金『70億円』 エネルギーを地域の力に

電気料金の市内循環で
地域の活性化を！

市内全体 (一般家庭・民間企業・公共施設など) で70億円を超

える電気料金。実は、その大半が市外に流出し、地域にお金が循環する機会が失われています。もし、地域新電力会社『ふかやeパワー(株)』から電力を購入する



と、これまで大半が市外に流出していた電気料金の一部がさまざまな形で市内にとどまり、そこから新たな雇用やサービスといった付加価値が生み出されていきます (左上図参照)。こうして、地域経済活性化の一助を地域新電力会社が担っていきます。

『事業収益の地域還元』で 生まれる新サービス

今後、ふかやeパワー(株)では、一般家庭にも売電を広げ、さらに安定した収益を上げること、さまざまなサービス展開を進めていきます。

今、ふかやeパワー(株)で検討を重ねているのが、事業収益の活用方法で、自治体出資の地域新電力会社として事業収益を『地域課題を解決する市民サービス』として地域還元していきます。



▲最新情報はふかやeパワー(株)ホームページをご覧ください。



ふかやeパワー株式会社
代表取締役 高丹秀篤

市民のための地域新電力会社に！

売電開始からおよそ半年が経過し、次第に市内の事業所でも『ふっかちゃんでんき』の利用が増えてきました。今年是一般家庭向けにも電気の供給開始を目指していますが、地域に根ざした地域新電力会社ならではのサービスを提供していきたいですね。

地域新電力会社
『ふかやeパワー株式会社』
(通称：ふっかちゃんでんき)

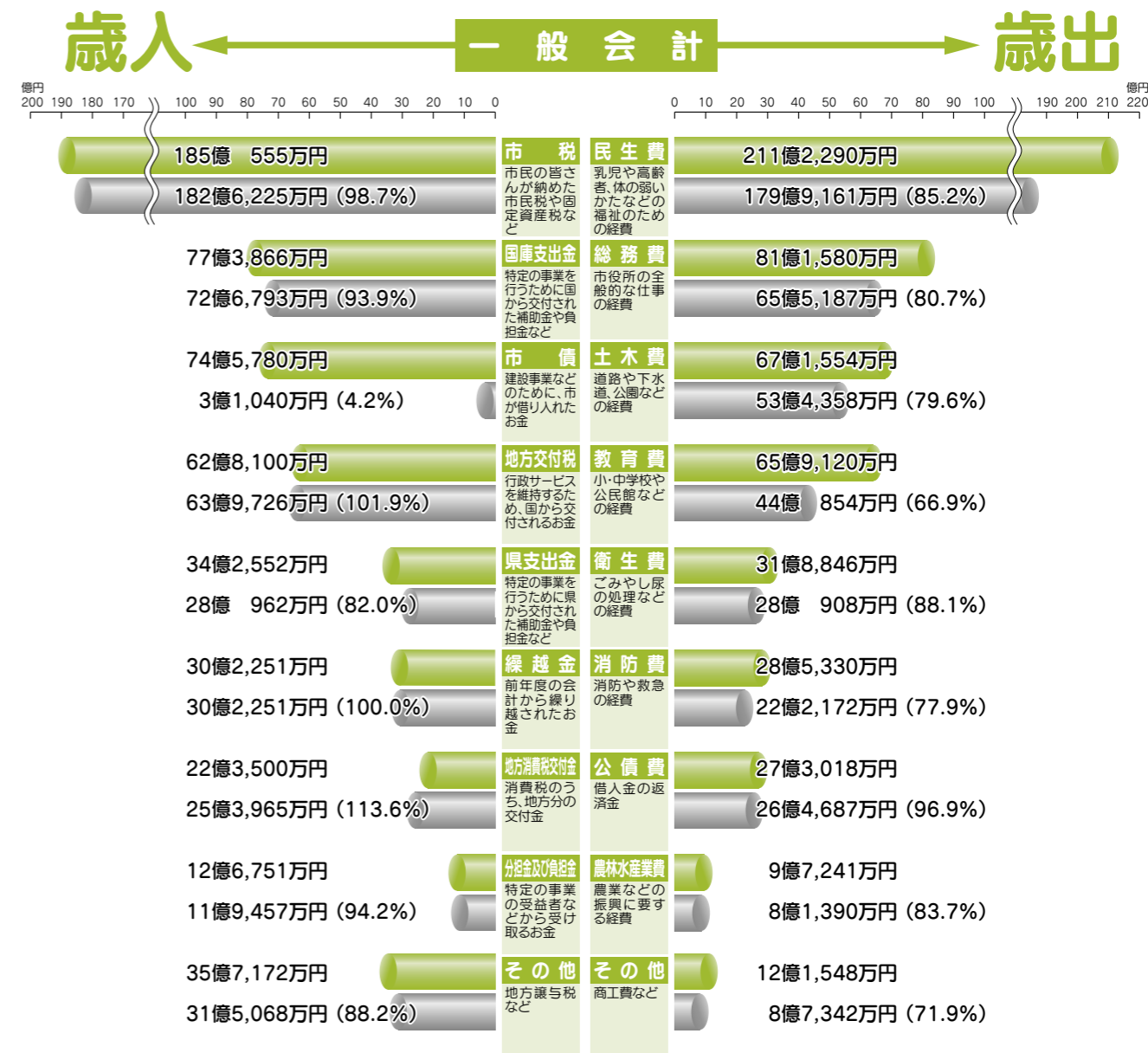
設立年月日：平成30年4月3日
所在地：上野台192 - 1
資本金：2,000万円
電話番号：☎578 - 8217
ファクス：☎578 - 8218

深谷市の財政状況

平成30年度（平成31年3月31日現在）の市の財政状況をお知らせします

市では、まちづくりのために、市民の皆さんに納めていただいた税金や市債(市の借入金)などを財源とし、効率的な財政運営に努めています。どのような事業にどのくらいお金が使われたかという『市の家計簿』ともいべき財政状況を年2回に分けてお知らせしています。

今回は、平成30年度(平成31年3月31日現在)の財政状況をお知らせします。



歳入予算額・535億 527万円
 収入済額・449億5,487万円
 執行率・84.0%



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
 ※予算額は、平成29年度の繰り越し分を含みます。

予算額に対して、収入済額と支出済額のそれぞれに差がありますが、これは出納整理期間の収入・支出が加算されていないためです。決算の数値は、出納整理期間終了後の数値になります。

(注)出納整理期間…年度内に終了した取引について、4月1日～5月31日までに現金を収入・支出した場合は、年度内に収入・支出したものと出納を処理することができます。この期間を出納整理期間といいます。

歳出予算額・535億 527万円
 支出済額・436億6,059万円
 執行率・81.6%



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

特別会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	158億8,223万円	143億7,968万円	151億8,823万円
後期高齢者医療	27億1,980万円	24億5,721万円	26億 630万円
国済寺土地 区画整理事業	6億6,141万円	6億6,163万円	4億7,378万円
岡中央土地 区画整理事業	7,463万円	7,470万円	3,190万円

市有財産

市が保有する公有財産のうち、土地は3,211,115㎡、建物は390,559㎡です。庁舎、学校、公園などの行政財産と、それ以外の普通財産とに分かれます。

公有財産	区分	土地		建物	
		面積	㎡	面積	㎡
土地および 建物	行政財産	2,914,616㎡	368,801㎡		
	普通財産	296,499㎡	21,758㎡		
	計	3,211,115㎡	390,559㎡		
	物権(地上権)		495㎡		
	有価証券(テレビ埼玉ほか株券)		5,455万円		
	出資による権利(埼玉県信用保証協会出えん金など)		101億2,550万円		
	債権		2億5,940万円		
	基金(行政振興基金など)		238億4,699万円		

本市の財政状況は、歳入面では、市税がおおむね180億円台で伸び悩む中、新たな財源確保が課題となっております。歳出面では、医療や福祉などに係る支出が年々増加する中、公共施設の老朽化に伴う支出の増加も見込まれています。

このような状況の中、第2次深谷市総合計画の初年度となる平成30年度は、子どもたちの学力向上のため、公立の全小中学校で標準学力検査の実施、英語検定、数学検定の検定費用補助の開始や、シニア世代による交流・仲間づくり・情報収集などを支援する拠点として、もくせい館内に、情報収集カフェ『もくもくカフェ』を開設するなど、必要な市民サービスの提供に努めるとともに、新庁舎や岡部公民館、消防分署などの整備を計画的に進めてまいりました。

令和元年度は総合計画に掲げる将来都市像の実現を一層確かなものとするため、引き続き将来を見据えた取り組みを推進してまいります。

深谷市長 小島 進

企業会計

水道事業 (税込み)

区分		収入済額	
		予算額	支出済額
収益的 収 支	収入	30億9,763万円	28億2,804万円
	支出	28億8,539万円	12億6,148万円
資本的 収 支	収入	6億6,398万円	4億7,506万円
	支出	20億7,101万円	13億2,944万円

下水道事業 (税込み)

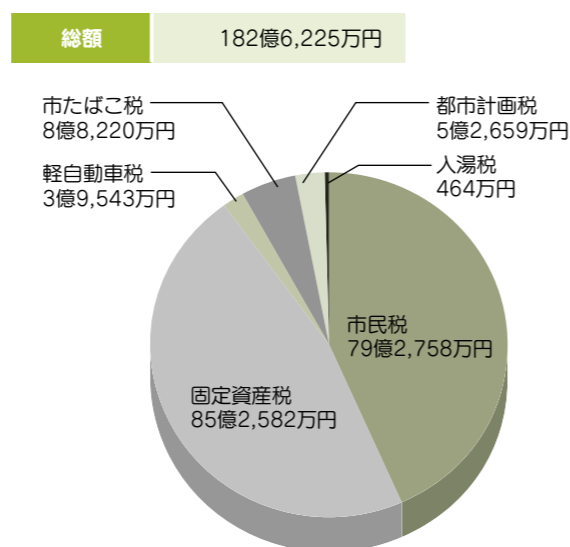
区分		収入済額	
		予算額	支出済額
収益的 収 支	収入	34億6,402万円	25億1,986万円
	支出	33億6,989万円	12億5,036万円
資本的 収 支	収入	30億2,309万円	16億7,532万円
	支出	40億4,749万円	24億8,563万円

市債(借入金)

会計名	残高
一般会計	319億5,579万円
土地区画整理事業特別会計	16億 936万円
国済寺特別会計	15億4,841万円
岡中央特別会計	6,095万円
水道事業会計	103億6,974万円
下水道事業会計	193億 952万円
合計	632億4,441万円

市民1人あたりに換算すると 440,690円
 1世帯あたりに換算すると 1,060,560円
 (人口 143,512人 世帯数 59,633世帯 平成31年3月31日現在)

市税の内訳



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。